

事務事業名	広報さくらがわ発行事業	事務事業No.	10401000877	所属課	秘書広報課
-------	-------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	平成16年度の合併協議会で広報紙を発行することが決定されました。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	市民の方が必要としている情報は基より、地域の問題も掲載して市民が興味を持つ広報紙づくりをしてもらいたいなどの意見もあります。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	現状維持
	魅力あるレイアウトや読みやすい文章作りは時間と経験を重ねて培われるため、日々参考図書などにより学習が大切である。広報紙は毎月発行されるため、時間に追われることも多く勉強の時間がなかなか確保できないが、知識・経験を深めていく。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 広報誌を通じて、市の施策や市などからの情報が、市民の方伝えることは、広報広聴の充実につながる。
②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市民の方への様々な情報は役所に集中してくるため、広報紙を媒体に市民に情報を提供することは市の事業である。
③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 紙面のレイアウトなどを工夫すれば、広報紙を見てくれる市民の方も増え、より広く情報も伝わる。
④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 広報紙発行を廃止してしまうと、市からの情報が伝わらなくなってしまい、市民サービスの低下に繋がる。
⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 他に類似事業がないため、統廃合・連携は出来ない。
⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない デザインソフトなどを駆使しながら専門的知識を要するため、短時間で効果を上げることは難しく、事業費・人件費を削減することは困難である。
⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 広報紙は全世帯に配布しており、全市民の方を対象としているため公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	広報紙の紙面づくりには担当者のセンスや個性が出てくるため、一概に良し悪しの判断はなかなか困難であり、万人に対して魅力ある広報紙と認められることは、時間と経験を要する作業であると思われる。 平成28年度は茨城県広報コンクールで、7/1号(3ページ)の岩瀬高校戴帽式のページが、組写真の部で準特選に選ばれました。																					
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																					
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						
魅力あるレイアウトや読み易い文章作りは、時間と経験を重ねて培われるため、日々参考図書などにより学習が大切である。																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
	(6) 事務事業優先度評価結果																					
	成果優先度評価結果																					
	コスト削減優先度評価結果																					

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>